

年間指導計画および評価規準(例) 第5学年(合計 70 時間)

この資料は、児童の学びの保障を目的に、教科書の内容から「学校の授業で扱う必要がある教材・学習活動」と「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とに区別して、学習活動の重点化の観点から単元ごとの配当時間数、主な学習活動などをご提案するものです。新型コロナウイルス感染症の影響により、各種の取組を行い学校における指導を充実したとしても、なお、年度当初予定していた内容の指導を本年度中に終えることが困難である場合には、内容の一部を次学年等に移して指導することも考えられます。その際は、教員間の引継ぎを徹底するなど、遺漏のないようご配慮をお願いいたします。

★Let's Listen = LL / Let's Sing = LS / Let's Chant = LC / Let's Play = LP / Let's Try = LT / Let's Watch and Think = LWT / Let's Read and Write = LRW / Let's Read and Think = LRT

月	課	時	題材・学習内容 できるようにすること	学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	評価規準(例)
4	L1	4	<p>Nice to meet you. pp.6-11, 82-83</p> <ul style="list-style-type: none"> ●3, 4年生の復習, あいさつ(世界のあいさつ紹介), 自己紹介, 数字(出席番号) ●主な言語材料: Hello ~./ Nice to meet you. / I'm ~. / I like ~. <p>文字 大文字を書く。</p> <p>・先生や友だちの自己紹介を聞いて、おおよその内容を理解できる。</p> <p>・数字を聞いてわかる。</p> <p>・簡単な自己紹介をすることができる。</p> <p>文字 大文字に慣れる。</p>	<p>第1時:教師の自己紹介を聞き、おおよその内容を理解することができる。</p> <p>【LL1】 新道先生の自己紹介を聞く。</p> <p>【LS1】 Hello Song を歌う。</p> <p>【LWT】 世界のさまざまな挨拶を聞く。</p> <p>第2時:アルファベットの大文字に慣れ親しみ、身の回りのアルファベットを探することができる。</p> <p>【LS2】 ABC Song を歌う。</p> <p>【LP1】 教科書の点線部分に鏡を置いて出てくる文字を考える。</p> <p>【LP2】 アルファベットの大文字に慣れる。</p> <p>【LP3】 身の回りにおけるアルファベットの大文字を探す。</p> <p>第3時:自分の名前をへボン式ローマ字で書いた名刺を作ることができる。</p> <p>【1】 アルファベットの大文字を書く。</p> <p>【LRW】 名刺カードに自分の名前を書く。</p> <p>【LP4】 出席番号ゲームをする。</p> <p>第4時:名刺交換をしながら友だちに挨拶や自己紹介ができる。もらった名刺に書かれている友だちの名前を読むことができる。</p> <p>【LP5】 教師が言ったアルファベットのカードを取る。</p> <p>【LL2】 美希の自己紹介を聞いて、内容に合うものに○をつける。</p> <p>【LT】 挨拶と自己紹介をしてから名刺交換をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆【LL1の一部】 予習として、p.6のQRの動画をくり返し視聴して、単元終末の活動のねらいを把握する。 ◆【1の一部】 授業で大文字の書き順を確認し、4線に大文字を書いたのちに、p.82のQRを参考に残りの数回分を書く。 ◆【LL2の一部】 予習として、p.10のQRの音声をくり返し聞いて、内容に合うものに○をつける。その後、授業で再度聞いて、確認する。 <p>(1時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○アルファベット(活字体)の大文字で自分の名前を書くことができる。 ○名前や好きなものを含めて自己紹介をすることができる。 ○他者に配慮しながら、自己紹介をしようとする。
	L2	6	<p>When is your birthday? pp.12-17, 84-85</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日付(誕生日), 行事, 季節, 誕生日(自分, 有名な人) ●主な言語材料: When is your birthday? / My birthday is ~. / What ~ do you like? <p>文字 大文字の形に気をつける。</p> <p>・友だちの伝えたい日付(誕生日など)を聞いて、理解できる。</p> <p>・自分の言いたい日付を言うことができる。</p> <p>・日付や季節についてたずねたり、答えたりすることができる。</p>	<p>第1時:クラスの誕生日ポスターを作るという単元の目標をつかみ、月名の言い方を知る。</p> <p>【LL1】 和矢とハンナの会話を聞く。</p> <p>【LS】 Twelve Months を歌う。</p> <p>【LP1】 ①キーワード・ゲームをする。 ②ミッシング・ゲームをする。</p> <p>第2時:月名を聞いたり言ったりするとともに、日にちの言い方を知る。</p> <p>【LP2】 何月のカレンダーかを言う。</p> <p>【LP3】 月名カード並べをする。</p> <p>【LP4】 ①日にちの言い方に慣れる。 ②ポインティング・ゲームをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆【LL1の一部】 予習として、p.12のQRの動画をくり返し視聴して、単元終末の活動のねらいを把握する。 ◆【LL2の一部】 予習として、p.15のQRの音声をくり返し聞いて、日づけを書いたり、日づけに合う絵を線で結んだりする。その後、授業で再度聞いて、確認する。 ◆【LL3の一部】 予習として、p.16のQRの音声をくり返し聞いて、人物と誕生日を 	<ul style="list-style-type: none"> ○季節や誕生日をたずねたり答えたりする言い方を理解することができる。また、大文字の形の特徴や違いに気づく。 ○好きな季節や誕生日について、たずねたり答えたりすることができる。 ○他者に配慮しながら、好きな季節や誕生日を伝えようとする。

		<p>文字 大文字の形の特徴や違いに気がつくことができる。</p>	<p>第3時:月名や日にちを聞いたり言ったりするとともに、好きな季節を伝え合う。</p> <p>【LL2】 ①英語を聞いて、日づけを書く。 ②日づけに合う絵を線で結ぶ。</p> <p>【LWT】 オーストラリアの写真(または動画)を見て、気づいたことを話し合う。</p> <p>【LP5】 好きな季節を伝え合う。</p> <p>第4時:月名や日にちを聞いたり言ったりするとともに、誕生日をたずねたり答えたりする表現を知る。</p> <p>【LL3】 4人の誕生日を聞いて、線で結ぶ。</p> <p>【LP6】 有名人になりきった教師に、誕生日をたずねる。</p> <p>第5時:クラスの誕生日ポスターを完成させる。</p> <p>【LT】 ①クラスの友だちの誕生日をたずねて、表に書く。 ②クラスの誕生日ポスターを作る。</p> <p>第6時:身の回りにある大文字を文字として認識し、文字の形の違いに気がつけて書くことができる。</p> <p>【LS】 ABC Song を歌う。</p> <p>【1】 ①身の回りの文字を写した写真を見て、話し合う。 ②身の回りの大文字を探してきて、4線の上に書き写す。</p> <p>【2】 ①直線だけで書ける大文字を探して書き写す。 ②曲線と直線で書ける大文字を探して書き写す。 ③ひと筆で書ける大文字を探して書き写す。</p> <p>【3】 形の違いに気がつけて大文字を書く。</p>	<p>線で結ぶ。その後、授業で再度聞いて、確認する。</p> <p>◆【2の一部】 授業で、p.84の見本を参考にしながら、条件に合う大文字を探して4線に書いたのち、残りの数回分を書く。</p> <p>◆【3の一部】 授業で、p.85の見本を参考にしながら、形の違いに気をつけながら大文字を4線に書いたのち、残りの数回分を書く。</p> <p>(1時間)</p>	
5	L3	<p>8 What do you have on Mondays? pp.18-25, 86-88</p> <p>●曜日、教科名、身の回りのもの(文房具、道具)、職業</p> <p>●主な言語材料: What do you have on ~? / I have ~.</p> <p>文字 小文字を書く。</p> <p>・友だちのお気に入りの日課表を聞いて理解できる。</p> <p>・学校にある身の回りのものを聞いて理解できる。</p> <p>・職業を表す語を聞いて理解できる。</p> <p>・お気に入りの日課表を作り、紹介することができる。</p> <p>・学校にある身の回りのものをたずねたり、答えたりすることができる。</p> <p>・ある職業になるためのオリジナルの時間割を作り、インタビュー形式で紹介する。</p> <p>文字 形に気をつけながら小文字を書くことができる。</p>	<p>第1時:学校生活に関するまとまりのある話を聞き、おおよその内容がわかる。</p> <p>【LL1】 ブラウン先生とジムの会話を聞く。</p> <p>【LS】 Sunday, Monday, Tuesday を歌う。</p> <p>【LP1】 ポインティング・ゲームをする。</p> <p>【LWT】 映像を見て、世界の学校について聞き取れたことばやわかったこと、日本の学校との違いなどを発表する。</p> <p>第2時:教科や曜日についてたずねたり答えたりできる。</p> <p>【LC】 教科チャンツをする。</p> <p>【LL2】 英語を聞いて、何曜日のことを言っているか紙面に記入する。</p> <p>【LP2】 友だちに好きな教科をたずねて、クラスのランキングを作る。</p> <p>第3時:教科についてたずねたり答えたりできる。</p> <p>【LP3】 教科に関係のある道具の英語表現を聞いて、その道具と教科を線で結ぶ。</p> <p>【LP4】 教科名当てクイズをする。</p> <p>第4時:教科や曜日についてたずねたり答えたりできる。</p> <p>【LP5】 インクで見えなくなった部分をたずねたり答えたりして、時間割を完</p>	<p>◆【LL1の一部】 予習として、p.18のQRの動画をくり返し視聴して、単元終末の活動のねらいを把握する。</p> <p>◆【LCの一部】 p.20のQRからチャンツをくり返し聞いたり言ったりして、教科名の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>◆【LL2の一部】 予習として、p.20のQRの音声をくり返し聞いて、何曜日のことを言っているのかについて日本語で書く。その後、授業で再度聞いて、確認する。</p> <p>◆【LL3の一部】 予習として、p.22のQRの音声をくり返し聞いて、職業と教科を線で結ぶ。その後、授業で再度聞いて、確認する。</p> <p>◆【LL4の一部】 予習として、p.23のQRの</p>	<p>○曜日、教科や職業の言い方を理解することができる。また、小文字の形の特徴や違いに気づく。</p> <p>○ある職業になるための時間割を発表することができる。</p> <p>○他者に配慮しながら、ある職業になるための時間割を、友だちと協力して発表しよとする。</p>

			<p>成する。</p> <p>【LL3】 英語を聞いて、それぞれの職業の人が好きな教科を線で結ぶ。</p> <p>第5時: 時間割や職業についての考えなどの話を聞いて、そのおおよその内容を捉える。</p> <p>【LP6】 職業カードを見て、その職業に結びつきそうな教科を考える。</p> <p>【LL4】 デイビス先生が考えた、ある職業になるための時間割を聞く。</p> <p>第6時: ある職業になるための時間割について考え、伝え合おうとする。</p> <p>【LP7】 職業カードを引いて、その職業になるための時間割を考える。</p> <p>第7時: 他者に配慮しながら、時間割や職業についての自分の考えなどを伝え合おうとする。</p> <p>【LT】 時間割クイズ大会をする。</p> <p>第8時: 活字体の小文字を認識し、文字の形に気をつけて4線の上に書くことができる。</p> <p>【LS】 Jingle 1 を歌う。</p> <p>【1】 聞こえてくる音声と同じ音で始まる単語カードを選ぶ。</p> <p>【2】 アルファベットの小文字を書く。</p> <p>【3】 形の違いに気をつけて小文字を書く。</p>	<p>音声をくり返し聞いて、当てはまる職業に○をつける。その後、授業で再度聞いて、確認する。</p> <p>◆【2の一部】 授業で小文字の書き順を確認し、4線に小文字を書いたのちに、p.86のQRを参考に残りの数回分を書く。</p> <p>◆【3の一部】 授業で、p.88の見本を参考にして、形の違いに気をつけながら小文字を4線に書いたのち、残りの数回分を書く。</p> <p>(2時間)</p>	
6 7	L4	6	<p>Can you do this? pp.26-31, 89</p> <p>●スポーツ, 身体, 動作, 楽器(できること)</p> <p>●主な言語材料: Can you ~? / I can ~.</p> <p>文字 小文字の形を確かめる。</p> <p>・先生や友だちの「できること, できないこと」を聞いて理解できる。</p> <p>・自分の「できること, できないこと」を言うことができる。</p> <p>・「できること, できないこと」をたずねたり, 答えたりすることができる。</p> <p>文字 小文字の高さや形に注意して書くことができる。</p> <p>第1時: canを使用する場面を聞いて、英語で「できること, できないこと」を表現する言い方を理解する。</p> <p>【LL1】 新道先生とブラウン先生の会話を聞く。</p> <p>【LP1】 ①ポインティング・ゲームをする。 ②サイモンセズをする。</p> <p>第2時: 動作を表す表現を、「できること, できないこと」の表現とつなげて理解する。</p> <p>【LL2】 3つのヒントを聞いて、どの動物かを考える。</p> <p>第3時: can, can't を使って「できること, できないこと」を表現することができる。</p> <p>【LP2】 サイモンセズをする。</p> <p>【LP3】 友だちの「できること, できないこと」を当てる。</p> <p>【LP4】 スリーヒント・クイズをする。</p> <p>第4時: 家族の言い方や he, she について知り、家族の「できること, できないこと」について話し合う。</p> <p>【LL3】 家族の紹介を聞いて、番号を書く。</p> <p>【LL4】 英語を聞いて、内容に合う天気を書いたり、○×を記入したりする。</p> <p>第5時: プロフィールカード作りを通して、自分の「できること」を発表する。</p> <p>【LT】 プロフィールカードを作り、自分ができることについて発表する。</p> <p>第6時: 活字体の小文字について、特に形(高さ)の違いに注意して正しく書くことができる。</p> <p>【LS】 Jingle 1 を歌う。</p>	<p>◆【LL1の一部】 予習として、p.26のQRの動画をくり返し視聴して、単元終末の活動のねらいを把握する。</p> <p>◆【LL2の一部】 予習として、p.28のQRの音声をくり返し聞いて、できることには○、できないことには×を書いたり、3つのヒントを聞いてどの動物かを考え()に記号を書いたりする。その後、授業で再度聞いて、確認する。</p> <p>◆【LL3の一部】 予習として、p.30のQRの音声をくり返し聞いて、()に番号を書く。その後、授業で再度聞いて、確認する。</p> <p>◆【LL4の一部】 予習として、p.30のQRの音声をくり返し聞いて、当てはまる天気のをかいたり、聞き取った内容と絵が合っていたら○、合っていなかったら×を書いたりする。その後、授業で再度聞いて、確認する。</p> <p>◆【2の一部】 授業で、p.89の例を参考に</p>	<p>○自分や家族の「できること, できないこと」の言い方を理解することができる。また、小文字の形の特徴や違いに気づく。</p> <p>○自分の「できること, できないこと」を発表することができる。</p> <p>○他者に配慮しながら、自分の「できること, できないこと」を発表しようとする。</p>

			<p>【1】 黒い形の中に入る小文字を探す。 【2】 文字の高さに気をつけて小文字を書く。 【3】 文字の形の違いに気をつけて小文字を書く。</p>	<p>しながら、条件に合う小文字を4線に書いたのち、残りの数回分を書く。 ◆【3の一部】 授業で、p.89の見本を参考にして、形の違いに気をつけながら小文字を4線に書いたのち、残りの数回分を書く。 (2時間)</p>		
9	P1	8	<p>パーティーを楽しもう。 pp.33-37, 90-93 ●復習 文字 はじめの音に気をつけながら単語を聞く。</p>	<p>第1時: イングリッシュ・パーティーについて知り、いろいろな活動を楽しむ。 【LL】 新道先生とブラウン先生の会話を聞く。 【LP1】 ミステリーボックス・クイズをする。 【LP2】 単語を聞いてカードをタッチする。 第2時: いろいろな活動を楽しむ。 【LS1】 Twenty Steps を歌う。 【LP3】 ラッキーナンバー・ゲームをする。 【LP4】 シルエット・クイズをする。 【LP5】 スイカわりゲームをする。 第3時: いろいろな活動を楽しむ。 【LS2】 ① Twelve Months を歌う。 ② Sunday, Monday, Tuesday を歌う。 【LP6】 一本橋ゲームをする。 【LP7】 ○×クイズをする。 第4時: いろいろな活動を楽しむ。 【LP8】 フルーツバスケットをする。 第5時: イングリッシュ・パーティーの準備をする。 【LT】 イングリッシュ・パーティーの準備をする。 第6時: イングリッシュ・パーティーを楽しむ。 【LT】 イングリッシュ・パーティーを行う。 第7時: 単語の最初の子音(第1音節の onset)を聞き分けることができる。 【LS】 abcd Song を歌う。 【1】 英語を聞いてはじめての音聞き分ける。 第8時: 単語の最初の子音(第1音節の onset)を聞き分けることができる。 【2】 英語を聞いて、指定された文字で始まることばを選ぶ。</p>	<p>※Project 1は総括的評価のための単元と位置付けているため、本時の全活動を「授業で扱う必要があるもの」と考える。評価の結果、フィードバックを要する部分については、Lesson 1～4の該当箇所に立ち返り、適宜補って学習する。</p>	<p>○クイズや指示の言い方を理解することができる。また、単語のはじめの音を取り取ることができる。 ○クイズを出したり、ゲームの仕方を伝えたりすることができる。 ○他者に配慮しながら、クイズやゲームを伝えようとする。</p>
10	L5	8	<p>Where is your treasure? pp.38-46, 94-95 ●道案内(建物/プログラミング) ●主な言語材料: Where is ~? / Go straight. / Turn right [left]. / It's on [in / under / by] ~. 文字 単語を書き写す。 ----- ・指示を聞いて方向や行き先、物が置かれている場所</p>	<p>第1時: 建物や施設の語句と道案内の内容を聞き取ることができる。 【LL1】 デイビス先生と街の人の会話を聞く。 【LP1】 地図記号を見て、何を表しているか確かめる。 【LC1】 建物チャンツをする。 【LP2】 サイモンセズをする。 【LL2】 英語を聞いて、どこへ案内しているかを考える。 第2時: 道案内の表現の仕方に慣れ親しむ。</p>	<p>◆【LL1の一部】 予習として、p.38のQRの動画をくり返し視聴して、単元終末の活動のねらいを把握する。 ◆【LL2の一部】 予習として、p.39のQRの音声をくり返し聞いて、どこへの道案内をしているかを、地図の()に番号を書く。</p>	<p>○建物や物がある場所、道案内の言い方を理解することができる。また、単語を書き写すことができる。 ○宝物への道案内をすることができる。 ○他者に配慮しながら、宝物への道案内をしようとする。</p>

		<p>が理解できる。・方向や行き先を相手に指示することができる。</p> <p>・行き先や物が置かれている場所をたずねることができる。</p> <p>文字 文字の形に注意しながら単語を書き写すことができる。</p>	<p>【LL3】 英語を聞いて、4人が行きたい場所を線で結ぶ。</p> <p>【LP3】 コマンドメモを活用して、道案内をする。</p> <p>第3時: 自分の思いどおりに相手を案内することができる。</p> <p>【LC2】 Where is your treasure? チャンツをする。</p> <p>【LP4】 宝物のありかを教えるゲームで、自分の考えを相手に伝える。</p> <p>第4時: 位置を表す言い方に慣れ親しむ。</p> <p>【LP5】 ポインティング・ゲームをする。</p> <p>【LC3】 on in under by チャンツをする。</p> <p>【LP6】 インタビュー・ゲームをして、位置や場所についてたずね合う。</p> <p>第5時: 道をたずねたり答えたりする言い方に慣れ親しむ。</p> <p>【LP7】 グループで宝箱への道案内をする。</p> <p>第6時: 道案内や場所についての語句や表記を読むことができる。</p> <p>【LRW】 ①道案内の英語を読んで、コマンドメモに記入する。 ②自分の宝箱のありかを決め、コマンドメモを作成する。</p> <p>第7時: 宝物のありかについて発表することができる。</p> <p>【LT】 自分が大切にしている宝物をかき、宝箱のありかと中身について発表する。</p> <p>第8時: 単語を4線の上に書き写すことができる。また、はじめの子音を聞き取ることができる。</p> <p>【LS】 abcd Song を歌う。</p> <p>【1】 教師が言うアルファベットの音を聞いて、その音で始まる単語のカードを選び、書き写す。</p> <p>【2】 グループで協力して、読み上げられた4つの単語のカードを選び、書き写す。</p> <p>【3】 単語を聞いて、はじめの文字を書く。</p>	<p>その後、授業で再度聞いて、確認する。</p> <p>◆【LL3の一部】 予習として、p.40のQRの音声をくり返し聞いて、人物と場所を線で結ぶ。その後、授業で再度聞いて、確認する。</p> <p>◆【1の一部】 授業で、p.94のQRの音声を聞きながら、その音で始まる単語カードを選び、4線の上に書き写したのち、残りの数回分を書く。</p> <p>◆【2の一部】 授業で、p.95のQRの音声を聞きながら、読まれた順に単語カードを並べて4線の上に書き写したのち、残りの数回分を書く。</p> <p>(1時間)</p>	
--	--	--	---	---	--

11	L6	<p>6 My Hero pp.48-55, 96-97</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ヒーロー, あこがれの人, 尊敬する人 ●主な言語材料: He [She] is ~./ He [She] can ~./ Who is ~? <p>文字 大文字, 小文字のルールを知る。</p> <p>・まとまった英語を聞いて内容が理解できる。</p> <p>・あこがれたり, 尊敬する人について説明することができる。</p> <p>・あこがれたり, 尊敬する人に対する自分の考えや気持ちなどを紹介することができる。</p> <p>文字 大文字, 小文字のルールを確認しながら単語を書くことができる。</p>	<p>第 1 時: ブラウン先生やジムのヒーローについての話を聞いて, おおよそ理解できる。</p> <p>【LL1】 ブラウン先生のヒーローは誰かを聞く。</p> <p>【LC】 友だちチャンツをする。</p> <p>【LP1】 出席番号で「he / she チェーン・ゲーム」をする。</p> <p>【LL2】 ジムのヒーローについての会話を聞く。</p> <p>【LWT1】 ブラインドサッカーの映像を見て, どのような競技なのかを知る。</p> <p>【LP2】 LL2 の会話を聞いて, キーワードの絵か写真をタッチする。</p> <p>第 2 時: 和矢のヒーローについての話を聞いて, おおよそ理解するとともに, 「できること」を表す表現に慣れ親しむ。</p> <p>【LP3】 気持ちを表すことばで「he / she チェーン・ゲーム」をする。</p> <p>【LL3】 和矢のヒーローについての会話を聞く。</p> <p>【LWT2】 Mr. BLACK についての映像を見て, どのような人なのかを知る。</p> <p>【LP4】 LL3 の会話を聞いて, キーワードの絵か写真をタッチする。</p> <p>【LP5】 友だちができることを他の人に紹介する。</p> <p>第 3 時: ハンナのヒーローについての話を聞いて, おおよそ理解する。</p> <p>【LP6】 得意なスポーツで「he / she チェーン・ゲーム」をする。</p> <p>【LL4】 ハンナのヒーローについての会話を聞く。</p> <p>【LP7】 LL 4 の会話を聞いて, キーワードの絵をタッチする。</p> <p>第 4 時: 例文を参考に, 自分のヒーローについてのスピーチ原稿を作成する。</p> <p>【LL5】 美希のヒーロー紹介を聞いて, 内容に合うものに○をつける。</p> <p>【LRW】 ヒーローを紹介する文を読んで, 自分が発表するためのメモやポスターを作る。</p> <p>第 5 時: 自分のヒーローについて発表する。</p> <p>【LT】 自分にとってのヒーローについての発表会をする。</p> <p>第 6 時: 大文字と, それに対する小文字を正しく認識している。また, 大文字で書き始める単語についてのルールを知る。</p> <p>【LS】 abcd Song を歌う。</p> <p>【1】 対応する大文字と小文字を線で結ぶ。</p> <p>【2】 大文字で始まる単語を書く。</p> <p>【3】 大文字で始まる単語を書く。</p>	<p>◆【LL1の一部】 予習として, p.48のQRの動画をくり返し視聴して, 単元終末の活動のねらいを把握する。</p> <p>◆【LL2の一部】 予習として, p.48のQRの音声をくり返し聞いて, 会話を大まかに理解する。</p> <p>◆【LL3の一部】 予習として, p.50のQRの音声をくり返し聞いて, 会話を大まかに理解する。</p> <p>◆【LL4の一部】 予習として, p.52のQRの音声をくり返し聞いて, 会話を大まかに理解する。</p> <p>◆【LL5の一部】 予習として, p.54のQRの音声をくり返し聞いて, 内容に合うものに○をつける。その後, 授業で再度聞いて, 確認する。</p> <p>◆【1の一部】 予習として, p.96の例を参考にしながら, 条件に合う大文字と小文字を線で結ぶ。その後, 授業で確認する。</p> <p>◆【2の一部】 予習として, p.97の見本を参考にしながら, 大文字で始まる単語を4線に書く。その後, 授業で確認する。</p> <p>◆【3の一部】 予習として, p.97の【2】を参考にしながら, 大文字で始まる単語を4線に書く。その後, 授業で確認する。</p> <p>(3時間)</p>	<p>○あこがれの人を紹介する言い方を理解することができる。また, 大文字と小文字のルールを理解することができる。</p> <p>○自分のあこがれの人を紹介することができる。</p> <p>○他者に配慮しながら, あこがれの人を紹介しようとする。</p>
----	----	---	--	--	---

12	L7	<p>6 Happy New Year pp.56-59, 98-101</p> <p>●カード(年賀状)の作成, 世界のお正月(おせち)</p> <p>文字 大文字と小文字の関係をまとめる。</p> <p>・世界のお正月について聞いて, おおよその内容を理解できる。</p> <p>・自分に必要な言葉を選んで, 正確に書き写すことができる。</p> <p>文字 対応する大文字と小文字を書くことができる。</p> <p>文字 音と小文字を結びつけて書くことができる。</p>	<p>第1時: 世界のお正月の様子を見て, 日本と比べる。 【LWT1】 世界のお正月の様子を見て, 日本と比べる。 【LP】 ①ポインティング・ゲームをする。 ②十二支の動物と漢字を線で結ぶ。 第2時: 十二支の物語を聞き, おおよそ理解できる。 【LC】 十二支チャンツをする。 【LL】 ①十二支の物語を聞く。 ②物語をもう一度聞いて, 話の順番どおりに記号を並べ替える。 第3時: 世界のお正月の文化や New Year Cards, 年賀状について知る。 【LWT2】 世界の人たちがお正月に食べるもの(写真)を見て, お正月に食べる意味について考える。 【LRT】 世界の New Year Cards, 年賀状を見て, どの国のものか予想し, 線で結ぶ。 第4時: 年賀状を作る。 【LT】 見本を見ながら, 年賀状を作る。 第5時: 大文字とそれに対する小文字を認識し, 正しく書くことができる。 【LS】 abcd Rap を歌う。 【1】 大文字に対応する小文字を書く。 【2】 小文字に対応する大文字を書く。 第6時: 大文字とそれに対する小文字を認識し, 正しく書くことができる。 【3】 大文字と小文字を間違えやすいアルファベットをセットで書く。 【4】 アルファベットの音を聞いて, その音を表す小文字を書く。 【5】 3つのアルファベットの音を聞いて, その音を表す小文字を書く。</p>	<p>◆【LLの一部】 予習として, p.57のQRの動画をくり返し視聴して, 十二支の物語の概要を把握する。</p> <p>◆【1の一部】 授業で, p.98の見本を参考にしながら, 大文字に対応する小文字を4線に書いたのち, 残りの数回分を書く。</p> <p>◆【2の一部】 授業で, p.99の見本を参考にしながら, 小文字に対応する大文字を4線に書いたのち, 残りの数回分を書く。</p> <p>◆【3の一部】 授業で, p.100の見本を参考にしながら, 大文字と小文字をそれぞれセットで4線に書いたのち, 残りの数回分を書く。</p> <p>◆【4の一部】 授業で, p.100のQRの音声聞きながら, その音を表わす小文字を4線に書いたのち, 残りの数回分を書く。</p> <p>◆【5の一部】 授業で, p.101のQRの音声聞きながら, その音を表わす3つの小文字を続けて4線に書いたのち, 残りの数回分を書く。</p> <p>(2時間)</p>	<p>○世界のお正月の様子を理解することができる。また, 対応する大文字と小文字を書いたり, 音と小文字を結びつけたりすることができる。</p> <p>○十二支の物語を聞いて, あらすじを理解することができる。</p> <p>○例を見ながら年賀状を書こうとする。</p>
1	L8	<p>8 What would you like? pp.60-67, 102-103</p> <p>●食べ物(献立), 世界の食べ物</p> <p>●主な言語材料: What would you like? / I'd like ~. / ~, please. / How much ~?</p> <p>文字 単語を読む。</p> <p>・ランチメニューを聞いて理解できる。</p> <p>・食べ物の説明や紹介を聞いて理解できる。</p> <p>・ランチメニューを作り, 紹介することができる。</p> <p>・食べ物についてたずねたり答えたりすることができる。</p> <p>文字 絵や音と結びつけながら単語を読むことができる。</p>	<p>第1時: いろいろな食べ物や飲み物の表現を理解し, ランチメニュー作りのための発表およびやり取りのイメージを持ち, そのための表現に慣れる。 【LL1】 ジムが新道先生のために考えたランチメニューを聞く。 【LWT】 世界のランチについて聞いて理解する。 【LC1】 What would you like?チャンツ 1 をする。 【LP1】 ポインティング・ゲームをする。 【LL2】 英語を聞いて, 調味料と味とを線で結ぶ。 第2時: いろいろな食べ物や飲み物の表現を理解し, 言うようにする。 【LP2】 食べ物カルタをする。 【LL3】 どの国の料理か予想して線で結び, 英語を聞いて確かめる。 第3時: いろいろな食べ物や飲み物を買うときの数字・値段表現を知り, 表現に慣れる。 【LS】 Hundred Song を歌う。 【LC2】 What would you like?チャンツ 2 をする。</p>	<p>◆【LL1の一部】 予習として, p.60のQRの動画をくり返し視聴して, 単元終末の活動のねらいを把握する。</p> <p>◆【LL2の一部】 予習として, p.61のQRの音声をくり返し聞いて, 調味料と味を線で結ぶ。その後, 授業で再度聞いて, 確認する。</p> <p>◆【LL3の一部】 予習として, p.62のQRの音声をくり返し聞いて, 料理と国を線で結ぶ。その後, 授業で再度聞いて, 確認する。</p> <p>◆【LL4の一部】 予習として, p.64のQRの音声をくり返し聞いて, 人物とランチメニ</p>	<p>○食べ物や飲み物の言い方, 値段や欲しいものをたずねたり答えたりする言い方を理解することができる。また, 絵や音と結びつけながら単語を読むことができる。</p> <p>○特別な人へのランチメニューを発表することができる。</p> <p>○他者に配慮しながら, 特別な人へのランチメニューを発表しようとする。</p>

			<p>【LP3】 ①ミッシング・ゲームをする。 ②食べ物や飲み物の値段をたずね合う。 第4時:ランチメニューの食べ物や飲み物の栄養素を考え分類し、表現に慣れる。 【LP4】 給食のメニューを見て、食品を色分けする。 【LL4】 ランチメニューを聞いて、内容と合うものを線で結ぶ。 第5時:誰かのためのランチメニューを考え、食べ物や飲み物の名前を言い、読むことができる。 【LP5】 一本橋ゲームをする。 【LRT】 特別な人のためにメニューを作る。 第6時:ランチメニューを作るために、買い物をするができる。 【LP6】 LRT で考えたメニューを作るために、買い物をして食べ物カードを集める。 第7時:作ったランチメニューが誰のためか、どの食べ物・飲み物を選んだか発表する。 【LL5】 ランチメニューの紹介を聞いて、食べ物や飲み物を聞き取る。 【LT】 自分で考えたランチメニューを発表する。 第8時:綴りを見て単語を認識することができる。「音読み」を聞いて、文字を認識することができる。 【LS】 abcd Rap を歌う。 【1】 絵と単語とを線で結ぶ。 【2】 絵と単語のはじめの文字とを線で結ぶ。 【3】 教師が言うアルファベットの音を聞いて、その音で始まる単語を言う。</p>	<p>ユーを線で結ぶ。その後、授業で再度聞いて、確認する。 ◆【LL5の一部】 予習として、p.67のQRの音声をくり返し聞いて、紹介されている食べ物や飲み物を○で囲む。その後、授業で再度聞いて、確認する。 ◆【1の一部】 予習として、p.102の絵に合う単語を選び、線で結ぶ。その後、授業で再度聞いて、確認する。 ◆【2の一部】 予習として、p.103の絵に合う単語のはじめの文字を選び、線で結ぶ。その後、授業で再度聞いて、確認する。</p> <p style="text-align: right;">(2時間)</p>	
2	L9	<p>6 I love my town. pp.68-73, 104-105</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分の町紹介(自然, 名産品) ●主な言語材料: This is ~./ <p>It's famous for ~.</p> <p>文字 ゲームをする。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特徴を聞いて理解できる。 ・地域の特徴を紹介することができる。 <p>文字 単語を読みながら、ゲームを進めることができる。</p>	<p>第1時:日本全国の名所や名産品について話を聞き、おおよその内容がわかる。 【LL1】 新道先生の「自分の町しようかい」を聞く。 【LC】 It's famous for チャンツをする。 【LL2】 英語を聞いて、どの写真のことを話しているのか考える。 【LP1】 名産品ポインティング・ゲームをする。 第2時:大きな数のしくみがわかり、山の高さや川の長さなどを表現することができる。 【LP2】 大きな数のしくみについて知り、言い方に慣れる。 【LL3】 英語を聞いて数字を書いたり、どの数字かを指差したりする。 第3時:対になる形容詞に慣れる。 【LP3】 形容詞の言い方に慣れ、反対語カード並べなどをする。 【LL4】 和矢とハンナの「自分の町しようかい」を聞く。 第4時:友だちと協力しながら、「自分の町しようかい」の発表内容を考えることができる。 【LP4】 グループで発表する内容と方法を考える。 第5時:「自分たちの町しようかい」ができる。</p>	<p>◆【LL1の一部】 予習として、p.68のQRの動画をくり返し視聴して、単元終末の活動のねらいを把握する。 ◆【LL2の一部】 予習として、p.68のQRの音声をくり返し聞いて、どの写真のことか()に番号を書く。その後、授業で再度聞いて、確認する。 ◆【LL3の一部】 予習として、p.70のQRの音声をくり返し聞いて、数字を書いたり、聞こえた英語の数字を指差したりする。その後、授業で再度聞いて、確認する。 ◆【LL4の一部】 予習として、p.71のQRの音声をくり返し聞いて、2人の発表の違いを考える。</p>	<p>○名産品や「自分の町しようかい」の言い方を理解することができる。また、単語を読みながらゲームをすることができる。 ○「自分の町しようかい」をすることができる。 ○他者に配慮しながら、「自分の町しようかい」をしようとする。</p>

			<p>【LT】 グループごとに「自分の町しょうかい」をする。</p> <p>第6時:与えられた文字で始まる単語を言うことができる。音声が表示単語を選ぶことができる。</p> <p>【LS】 abcd Rap を歌う。</p> <p>【1】 Snakes and Ladders をする。</p> <p>【2】 アルファベットカード・ビンゴをする。</p>	(1時間)		
2 3	P2	4	<p>自分のことを伝えよう。 pp.75-79</p> <p>●復習</p> <p>・友だちの自己紹介を聞いて理解できる。</p> <p>・これまでに学んだ表現を使って、自己紹介をすることができる。</p>	<p>第1時:単元の目標をつかみ、これまでに学習した語句や表現を振り返るとともに、自分が話す内容を考える。</p> <p>【LL】 新道先生の自己紹介を聞く。</p> <p>【LP1】 ①サイモンセズをする。</p> <p>②スリーヒント・クイズをする。</p> <p>【LRT】 例のカードを読んで、自分が話す内容を考える。</p> <p>第2時:自己紹介カードを作る。</p> <p>【LRW】 自己紹介カードを作る。</p> <p>第3時:自己紹介の練習をする。</p> <p>【LP2】 グループで自己紹介の練習をする。</p> <p>第4時:自己紹介をする。</p> <p>【LT】 カードを見せながら自己紹介をする。</p>	<p>※Project 2は総括的評価のための単元と位置付けているため、本時の全活動を「授業で扱う必要があるもの」と考える。</p> <p>評価の結果、フィードバックを要する部分については、Lesson 1 ～ 9の該当箇所に立ち返り、適宜補って学習する。</p>	<p>○自己紹介の言い方や質問の仕方を理解することができる。</p> <p>○自己紹介をしたり、友だちの自己紹介に質問をしたりすることができる。</p> <p>○他者に配慮しながら、自己紹介をしたり質問をしたりしようとする。</p>

15/70 時間